

「ドライブドア」

配送効率を最大化

デジタルコ 燃費と管理コスト低減

リアルASP

デジタルタコメーター（自動車向け次世代情報提供サービス）の総合社長は、デジタルと運送社であるリアルASP 行管理ソフトによる配送

車両の燃費削減、効率的送業務管理システム「Dで安全な車両運行を支援するITシステムを提案している。関連会社のトラック（本社・市川が商品化）の導入だけでは効率化

プロパン・ボタンニュース

2013年（平成25年）2月25日（月曜日）

果を生むことはできない。多種多様な運輸業界で、各社がデジタルから吸い出した情報を運行管理ソフトで管理すれば、燃費の大幅な削減、運行管理による業務日報作成の手間がなくなるなど、合理化効果や安全運行などメリットも大きい。現在、市場では高額のスタンダード型が一般的だが、クラウドで利用料も安価な運送業務管理システムと連動させれば、基幹システムとの連携を含めて、さらに大きな合理化効果も期待できる」と話す。

トラックでサービス提供を開始したドライブドアは、2011年に開発。全国7カ所のユーザでの実証運用を経て、合理化・燃費削減で十分な効果が得られたことから、汎用システムとして提供する。デジタルからの走行データを「ドライブドア」で一括管理することで、より効率的な運用が可能となる。顧客のニーズをきめ細やかに反映、四半期の頻度でアップグレードを行う国内初の成長型クラウドサービスで、運送業に要求されるほぼすべてを網羅しながら、低コストな月額制を採用したのが特徴。デジタルと運行管理支援ソフトはリアルASP、ドライブドアはトラックシステムを窓口販売する。

ドライブドアは、デジタル・運行管理支援ソフトと連携したデータをもとに、運行管理から収支管理まで、想定される運送業務管理全般のサービスを網羅。運用形態が多

種多様な運輸業界で、各種入力作業や請求・計数・入出力管理の合理化、情報共有の迅速化、大幅な燃費削減と業務効率化を両立する。よりシビアな運送コスト管理が求められる運輸の世界で生まれたシステムのため、ガス仕入代金に配送コストが含まれるケースもあるLPガス配送でも大きな効果を発揮する。現在開発中のリアルタイム管理オプションで運行車両の「見える化」を実現すれば、ライブ視点で配送車両の差配も可能となる。オプションとして開発中のリアルタイム運送情報管理「リアルタイム動態管理」は、4月から提供する予定。管理情報はアンドロイド対応のタブレット端末やスマートフォンにより、配送先の指示などをリアルタイムで実現する。

デジタル・運行管理ソフトの導入効果は、リアルASPが過去導入を手がけた300社超の企業のすべてで満足できる結果を生んでいる。特に燃費削減効果は平均で10%を超え、一括購入なら一層早く、リースでも2年未満で投資を回収する成果も上げている。企業形態に応じて認定品・非認定品のデジタル対応システムも用意、規模に応じて導入できるのも魅力で、いずれも早期に投資コストを回収できる。ドライブドアも、安価なクラウド型。投資を上回る導入効果を確実に期待できる。